

令和 6 年度 公共事業 事後評価

平成 3 0 年度完了

農村地域防災減災事業

日義地区

木曾郡木曾町

長野県 農政部



事業の概要

事業計画時の課題・背景及び事業経緯

- ◆ 当地区は、木曾町北東部に位置し、冷涼な気象条件のもと、水稻・そば、スイートコーンそれに畜産を加えた複合経営で農業振興が図られている。
- ◆ 近年における急速な宅地化や道路整備の進行に伴い、降雨時には宅地や山からの雨水流入により、下流の農地や住宅に浸水被害が発生していた。
- ◆ また、農業従事者の高齢化等により異常出水時の応急対策などの対応が困難となりつつあり、重大災害を回避する災害対策が急務となっていた。
- ◆ 本事業では、農村集落の防災対策の上で必要な用水路等の整備を行うため平成26年度に事業着手した。

【事業実施前の状況】

断面不足による溢水状況



JR線に隣接する水路



降雨時の土砂除去状況



事業目的

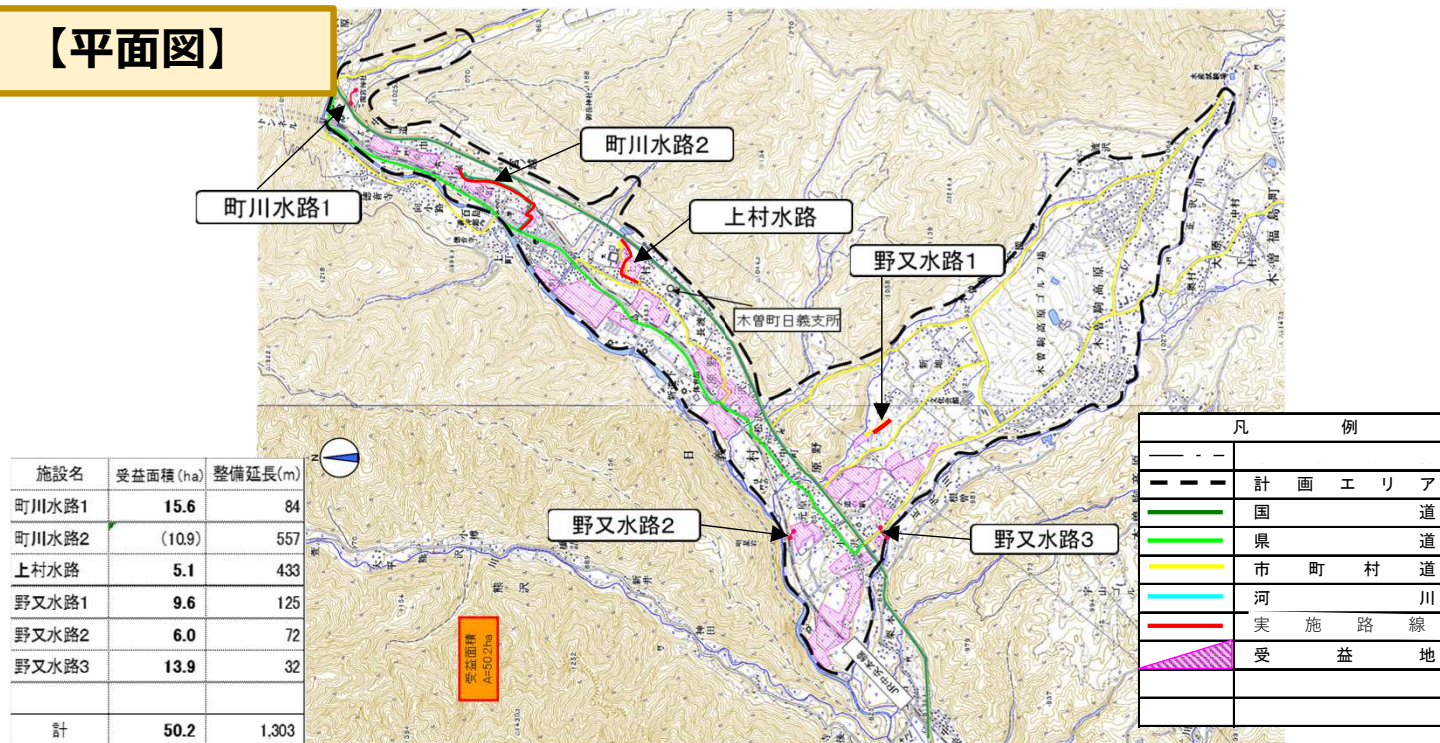
農村集落の防災対策の上で必要な農業用排水水路の整備を行い安全に安心して暮らせる農村整備を目的に事業を実施した。

事業の概要

【位置図】



【平面図】



【全体計画】

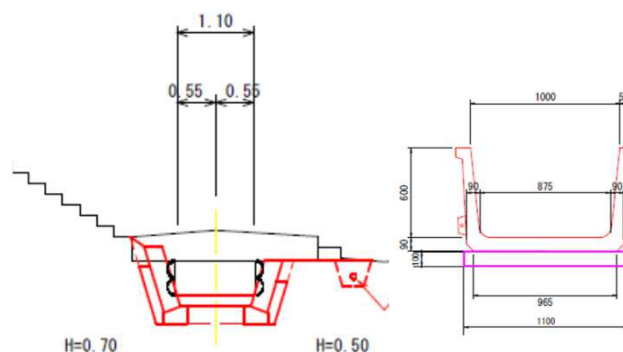
事業内容 : 水路工 延長1,303m

付帯工 1式

事業期間 : 平成26年度～平成30年度

全体事業費 : 1億4,900万円

【標準横断面図、構造図】




【事業完了後の状況】



事業概要の変更経緯

事業概要の変更経緯

	当初計画 (H26年新規評価)		最終実績 (H30完了時)
事業期間	H26～H30年度		H26～H30年度
総事業費	1億4,000万円		1億4,900万円
費用対効果	B/C = 1.39		B/C = 1.39
事業概要	水路工 延長 1,324m		水路工 延長 1,303m

変更理由 (総事業費の増)

- ◆ 物価上昇等による事業費の増。
- ◆ 詳細調査の結果、水路工延長が減となった。

①事業効果の発現状況



J R 線に隣接する水路改修



南宮神社内の水路改修



農村集落内の水路改修

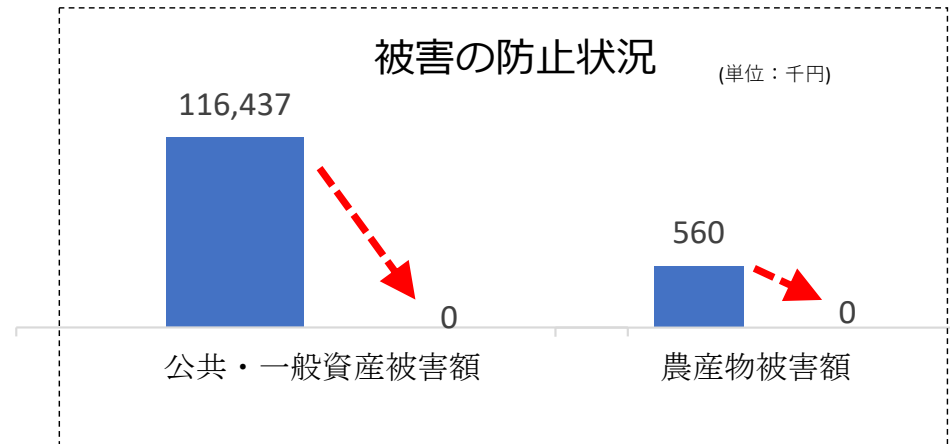
【直接効果】

●災害防止効果

水路の溢水等により被害が防止され住宅や工場、JR線等の資産や農地が保全され、地域の安全性が向上した。

住宅等被害 13戸 → なし（平成30年度完了以降）

農地被害 2.7ha → なし（平成30年度完了以降）



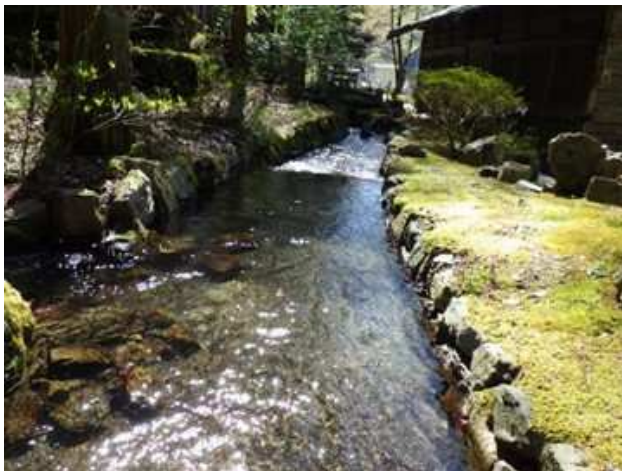
【間接効果】

●水路の改修により、通常の維持管理作業（草刈等）が改修前に比べ軽減

●直接被害を受けない下流の干ばつ被害の防止

② 自然環境・生活環境への影響

- ◆ 本地区は、農村集落内を流れる既設の農業用水路の改修で、水路断面も比較的小規模のため、実施による自然環境・生活環境に対する影響は少ないほか、事業の実施で水路の溢水被害が無くなり、事業着手前より自然環境、生活環境への影響は少なくなった。
- ◆ 施工時には、以下の点に留意した
 - ・ 工事に伴う濁水、土砂流出等により水生生物や下流の生活環境等への影響が出ないように、施行時期・施工方法に十分配慮した
 - ・ 町川水路1については、神社内を流れる水路のため、親水性等を考慮し練り石積水路とした
 - ・ 林地等通過する場合は、立木の伐採を最小限に抑えた
 - ・ 工事について地元説明会等開催し、資材搬入のルート、実施時期等、地元住民へ周知に努めた



町川水路1の改修



水路改修状況



水路工事現場説明状況

③施設の維持管理状況



水路の泥上げ、周辺の草刈



水路等清掃前の集合状況

●施設の管理

上せぎ用水耕作組合、上村用水耕作組合、原野林野利用農業協同組合が管理。

●管理の方法

毎年（春・秋）2回実施。

草刈や堰の泥上げを行う。

大雨警報等、大雨が予想される時は取水ゲート等の状況確認、操作を行う。

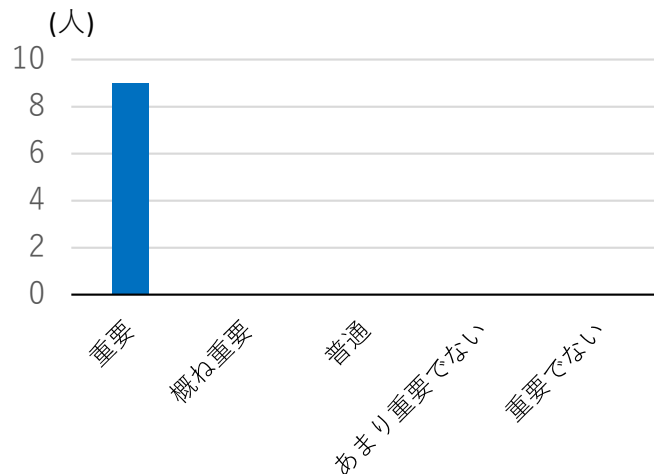
④ 地域住民等の評価

水路を管理する組合員の評価

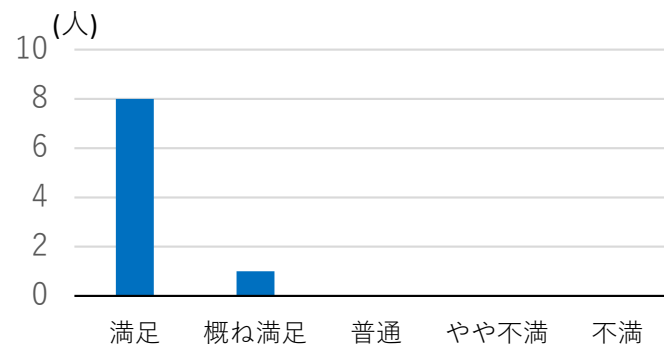
- ◆ 管理が容易になり良かった。また、（水路が）蓋付となった箇所もあり、安全かつ有効に利用できる。（上せぎ用水組合員）
- ◆ 流れがスムーズになったため、溢水被害が無くなった。（上せぎ用水組合員）
- ◆ 改修したことにより、水路断面が確保され大雨時の増水に対応できるようになった。（原野林野組合長）
- ◆ 漏水が解消され管理がしやすくなった。（上村用水組合員）

受益者の代表に対するアンケート調査結果

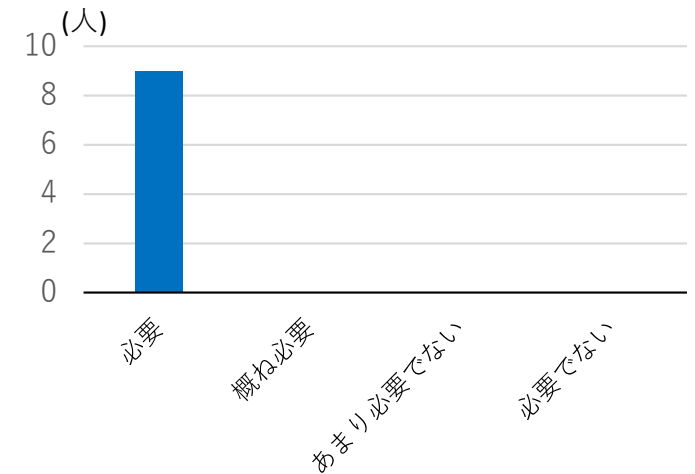
【事業の実施は地域にとって重要か】



【工事の結果に満足か】



【今後も同様の工事が必要か】



事後評価結果

総合評価

評価項目	評価	評点	評価指標
① 事業効果の発現状況（直接的効果、間接的効果）	B	55点	A：目的を超えた達成【70点】 B：目的を達成【55点】 C：目的を概ね達成【40点】
② 事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	A	10点	A：計画時よりも環境がよくなった【10点】 B：大きな影響なし【5点】 C：影響が大きい【0点】
③ 施設の維持管理状況	A	10点	A：地域の人たちも参加し適切に実施【10点】 B：施設管理者が適切に実施【5点】 C：やや不十分【0点】 D：不適切【0点】
④ 地域住民等の評価	A	10点	A：評価が高い【10点】 B：中程度の評価【5点】 C：評価が低い【0点】
総合評価	A	85点	A：75点以上 C：49点以下 B：74点～50点

改善措置の必要性

特になし

今後の取組及び同種事業への活用と課題

- 水路を管理する組合員も高齢化しており、適切な世代交代やより地域住民を含めた防災体制が望まれる。
- 今回の改修箇所以外の水路についても、町や施設管理者等と協同して状況等確認する。

事後評価結果

【農政部公共事業評価委員会の意見】

本地区は、農業用排水施設の整備により、災害の未然防止、維持管理労力や費用の軽減が図られたほか、地域住民の評価も高いため、総合評価Aと判断する。

【長野県公共事業評価委員会の意見】

農政部公共事業評価委員会の意見を妥当と判断する。

県の評価案	A	評価監視委員会意見	妥当	評価の決定	A
-------	---	-----------	----	-------	---